

巨樹・巨木シリーズ-6

細田木材工業株式会社
顧問 細田 安治

今号では北関東の群馬県の巨樹・巨木としては珍しい珍樹についてご紹介する。まずは、群馬県とはいかなる特徴をもった県であろうか。

◇群馬県 概要

群馬県は栃木県とともに北関東に位置し、福島、栃木、長野、新潟、埼玉の五県と隣接している。北は谷川連峰を背に新潟県との県境、水上から湯沢に抜ける上越線の清水トンネルは「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。」『雪国』（川端康成著）のモデルであるとされている。トンネルを抜けた瞬間、視界いっぱいに広がる銀世界はとても感動的だ。

またスキーのメッカとして数多くのスキー場があり、水芭蕉で有名な尾瀬沼の入り口として登山者にも親しまれており、さらには登山の拠点としても著名である。

産業では旧中島飛行機の技術を受けつぐ富士重工の斯巴ル、技術が買われ北米で人気のSUV車や、渋沢栄一が築いた富岡製糸工場から桐生の絹織物へとつながる。

後にも述べるが総理大臣、著名な政治家を輩出している県でもある。

また、利根川の源泉地、赤城山、国定忠治の物



清水トンネルの向こうは雪国

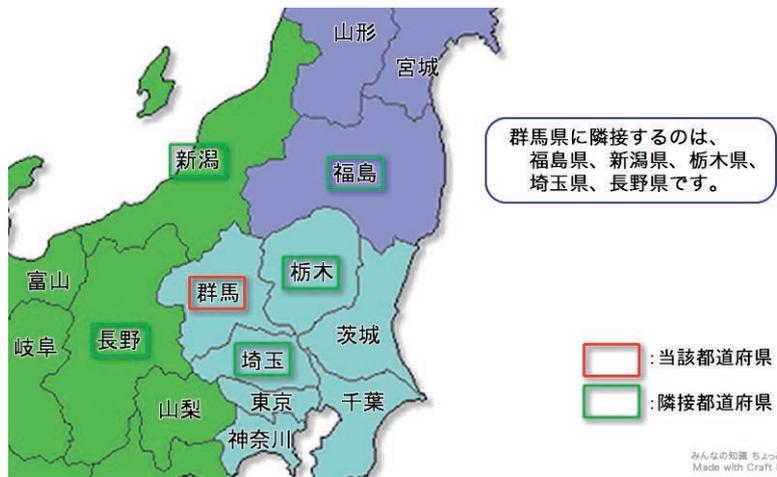


スバル北米で人気のSUV車



富岡製糸工場

語など話題も多い。利根川の水源
 と言えば群馬県利根郡みなかみ町
 にある三国山脈の一つ、大水上山
 (標高1,840 m)にその源を発し、関
 東地方を北から東へ流れ、太平洋
 に注ぐ一級河川。一級水系であり、
 利根川水系の本流である。河川の
 規模は日本最大級、日本三大河川
 の一つ。首都圏の水源として国内
 の経済活動上重要な役割を果たし
 ている。「坂東太郎^{ばんとうたろう}“東国にある日
 本一の大河”」の異名を持つ日本三大暴れ川の一つで、江戸時代初期に行われた河川改修である利根川東
 遷事業により、流路を変更された歴史を持つ(資料ウイキペデア参照)



群馬県の概要

群馬県と隣県と比較については、下表を参照。

群馬県と隣接県の概要

県名	人口万人	面積 百万平方m2	GDP 兆円	一人当たり GTP千円
群 馬	193	636	8.1	406
福 島	184	1378	7.4	389
栃 木	191	648	8.2	416
新 潟	215	1260	8.7	380
長 野	202	1356	7.9	378
埼 玉	726	379	21	287
東京都	1351	219	95	680

この表からおぼろげながら、群馬県は北関東の雄としての存在感がある県と見えた。勝手に言わせてもらえば、ヨーロッパの山岳国スイスのイメージが頭に浮かんだ。既に述べたように上越線沼田駅は水芭蕉が咲く幽玄地尾瀬沼の入り口だ。筆者は学生時代の昔、水芭蕉が見たくなり、尾瀬沼行を試み夜汽車で沼田に着くも、大雨の為、関係者に止められ残念ながら引き返した思い出がある。



スイスの山里

さて本論の巨樹・巨木の紹介への流れは以上の情報を加味してご紹介する。

◇巨樹を訪ねて

探索者U氏は秋たけなわの10月6日13本、10月14日17本、最終日の10月20日には12本を調査している。調査総本数51本。特に巨樹は群馬県北部の山岳地帯に集中しているため、ハードなスケジュールではなかったかと推察する。ご苦勞に感謝しつつ書き進める。

群馬県巨樹詳細

巨樹の合計51本

樹種の内訳 広葉樹35本(68%) 針葉樹16本(32%)

広葉樹 単位 本

欒	桜	桂	栃	銀杏	イチイ	榎	ケンボナシ	ブナ	桑	サイカチ
15	4	4	2	2	1	2	1	2	1	1

針葉樹 単位 本

杉	松	高野槇	モミ
13	1	1	1

・群馬は木材県

以上の内訳から推察すると、群馬県の巨樹巨木は欒が圧倒的に多く約30%、そして珍しいことに針葉樹の杉が約25%で他県との違いはこの部分で突出している。「木材や」の視点から言えば、杉と欒は共に日本の建築に欠かせなかった資材だ。杉が多いということ、そして欒が多いこと、その上珍しいケンボナシ、榎、水に強い高野槇などの巨木が存在している。流石群馬は木材県としての存在感を現しているのではないかな。

中曽根康弘、福田威夫の中福戦争、少し遅れて小淵恵三など著名な歴代首相達は、^{そくぶん}灰聞によればそれぞれ木材業を生業、少なくとも関係していたと言われている。このように、大物政治家の出身は「木材や」が多かった。ということは、「木材や」に、それだけの力があつたということになる。今の「木材や」からも群馬のような歴代首相クラスの政治家が派出し日本の政治を改革してはくれないだろうか、と期待している。さて本論に戻る。

巨樹・巨木について今号では樹種別に代表的な巨樹・巨木を視点を変えて珍樹・珍木4樹をご紹介します。

・松

群馬県の県木は黒松とされている。今回の巨樹巡りのレポートでは、黒松は1本のみだが県木を尊重してトップにご紹介する。群馬県の県木黒松は横に延びるいわゆる^は這い松である。オット這い松と言えば・善養寺の這い松を思い出した。少々脱線をお許し願いたい。

・善養寺の這い松

東京都江戸川区善養寺にある繁茂面積日本一の^{ようごう}影向の松がある。大正15年(1926年)に東京都の天然記念物に指定され、平成23年(2011年)に国の天然記念物の指定を受けた。影向(ようごう)とは、神仏が仮の姿をとってこの世に現われることを言う。樹齢600年以上、その枝ぶりは東西約31メートル、南北約28メートルになり、日本一の繁茂面積を誇る。秋には菊人形で賑わう善養寺、筆者は何度も善養寺にお参りし影向の松を拝観し感激した思いがある。ご存じの方いらっしゃるとは思います。筆が滑ってとご寛容を。

• ^{つなとり}連取の松

この松は1717年(享保2年)に植えられた黒松で「笠松」または「天神松」と呼ばれている。江戸時代、この地方の旗本駒井氏の領地で代官の飯島一覚が藍塚から移植したものと伝えられている。その姿は雄大で毎年10月に地元の人たちにより手入れが行われている。樹齢約300年、樹高5メートル、目通り周4メートル、根周り4.5メートル、枝張り東西・南北ともに約33メートル。群馬県指定天然記念物(1953年昭和28年8月25日指定)



^{つなとり}連取の松

• 伊勢崎市同聚院の大榧

イチイ科の常緑高木である榧は、常緑高木で、葉は扁平状の革質で厚く先端が鋭くとがっている。株は雄雌二株ありこの木は雌株、4月ごろ開花し実は広楕円形の核果で食用になる。樹齢約800年、樹高38メートル、目通り周5メートル、根元周10.5メートル、枝張り東西15メートル、伊勢崎市指定天然記念物(1967年昭和42年2月15日指定)



^{じゅ}同聚院の大^{かや}榧

なお、榧は世界に7種存在し中国に4種、アメリカに2種、日本に1種、本州の山形、岩手以南と四国、九州に分布し、碁盤将棋盤用材として珍重がられている。碁盤用材として直径1メートル以上に成長するには300年以上の歳月が必要とされている。

• 中之条のサイカチ

サイカチ(早蕨、皂莢、サイカチ属の落葉高木。別名はカララフジノキ)は幹に特徴的な棘がある。幹はまっすぐ延び、樹高は10~20メートルになる。枝が変化した大きくて枝分かれした鋭い棘が多数あり、ねじ曲がった灰色の豆果をつけ、種子の大きさは1cmほどの丸い扁平形。馬を洗うなど石鹸の代用として使用されている。



中之条のサイカチ

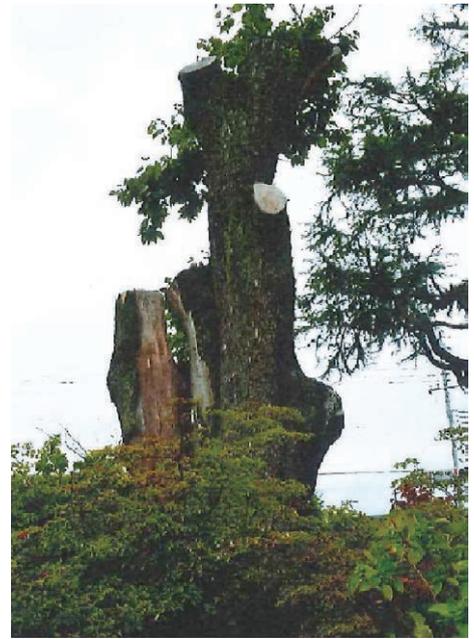
• ケンポナシ

昔シーボルトが、計無保乃梨(ケンポノナシ)、転訛して、ケンポナシとなった。日本全土を含め東アジア温帯一帯に分布。山地の溪流沿い斜面に自生する。また、植栽として庭などに植えられる。果実の見かけは枝つき干し葡萄のようで、英語ではJapanese raisin treeという。落葉広葉樹の高木である。花期は初夏(6~7月)。秋に直径7mm程の果実がまるで葡萄のよう

に黒紫色に熟す。同時にその根元の果柄部が同じくらいの太さにふくらんで、ナシ(梨)のように甘くなり食べられる。被食型散布樹種で、ハクビシンやタヌキに食べられることで、種子の発芽から分布範囲を拡大し種子の発芽率が上昇する。

すっかり坊主にされ拳骨状公園盆栽のようであり青森のリンゴの樹のようだ。

つぎに、「木材や」に縁のある樺と杉を紹介したかったが紙数が尽きた。残念だが次の機会に譲る。ご寛容を(続く)



沼田公園のケンポナシ

ドラッカーの名言-7

現代の経営

第五章事業とは何か

◇企業は人が創造し、人がマネジメントする。マネジメントは顧客を創造し、顧客は雇用を創造し、社会を変え国を変える。

◇シアーズ・ローバックは、遠隔地の顧客創造のイノベーションとして

1. カタログ(通信販売)を開発、
2. 信用創造のため「委細構わず返金」
3. 販売に対応できる人材の育成マネジメントし組織化した。
4. 大量販売のための発送工場をつくり流通のコストダウンを図った。つまりイノベーションを行った。

これを視たGMは自動車の大量生産方式を産み出した。自動車の普及でアメリカの消費構造が変わった。中流階級の出現でアメリカの経済が大きく発展した。この一連の流れは、シアーズのイノベーションから始まった。

このようなマネジメントを「木材や」に置き換え「木材や」が世の中を変えねばならない。 完